フレッシャーズセミナー(数理)課題2(2020/05/08)

## 学習目標

数学・情報科学で重要な論理の関わる問題について、オンラインで少人数の相談をして合意を形成し、説得力のある形で表現できること。

## 手順

1. Teams会議で配布する、文書「フレッシャーズセミナー(抜き打ちテスト).pdf」を個人が読む。M、S、Tのどの見解を支持するか、また独自の見解を支持するか、個人で考える。ファイルや紙にメモしておいてもよい。(15分)
2. Teams会議での合図の後、TAまたは教員からの音声グループチャットを受信する。グループは学生4-5名。グループ名は01, …, 99のような2桁の数。
3. どの見解を支持するか、グループ内で話し合い、グループの意見を一つに絞る。支持する理由を、グループ外の人を説得できる形で、グループチャット内で配布する文書report-b-group99.docx内に記述する。99はグループ名の例。（40分）

注意:この課題に正解はない。ただ1つの正しい見解というのはない。どこかの美しいWebページに書いてあるから、とか、多くのページにそう書いてあるから、というのは支持する理由にはならない。Webページに書いてある理由をもとに考えて、自分の言葉で書くのはかまわない。

Teamsを使って、複数名で相談して結論を出すというのは初めての経験かもしれないので、やり方の例を挙げる。例なので、絶対これに従えということではない。

1. 学籍番号がいちばん前の人を仮の司会、2番目の人をWord編集担当にする(その後、他の得意な人と交代してもよい)機能としては全員同時編集可能。
2. 司会が指名する人が、「状況と3人の見解は要するにこういうことだよね」と仮にしゃべる。納得してないところや曖昧なところがあればそれを言う。他のメンバーは、自分の理解と違うところがあればコメントする。グループメンバー全員が問題設定を同じように理解していることを確認する。
3. 全員が順に(根拠でなく気分でもいいので)理由とともにどの見解を支持するか言う、または、Word文書のメモページに直接書き込む。
4. 他の人の理由に意見や感想を言う。編集担当または本人がWord文書に記録。
5. 支持の少ない見解から削っていく。
6. 最後に残った見解について、支持する理由を列挙して、整理。
7. 完成した文書を、グループのうち誰か1名だけがダウンロードし、教員中野([a89023@mail。ryukoku。ac。jp](mailto:a89023@mail.ryukoku.ac.jp))へのチャットに添付して、15:05までに送信する。

## レポート評価基準

支持する見解は問わないが、支持する理由に説得力があるレポートを高く評価する。